2026 年 3 月

2025 年卒業時アンケート調査結果

回答率：幼児教育(71/80 件:88.8%)、美術(44/63 件:69.8%)、ビジネス実務(100/109 件:91.7%)

全体の回答率：215/252 件:85.3%

1. 総合的な満足度・推奨度の推移

全体として、**満足度は高い水準を維持**しているが、年度間で微細な変化が見られる。

指標	2024 年度（全体平均）	2025 年度（全体平均）	増減
総合的な本学の満足度	3.51	3.48	−0.03
後輩に本学を勧めたい度	3.28	3.12	−0.16

- **傾向：** 満足度は安定しているが、「後輩への勧め度」が昨年に比べやや慎重な回答（「本人が検討していたら勧めたい」等）に寄る傾向が見られた。

---

2. 学科別の特徴と変化

学科ごとの「満足度（5 段階換算）」の比較である。

- **ビジネス学科：** ＊ 2024 年：3.67 → 2025 年：3.64（ほぼ横ばい）
  - 「専門知識・技術が身についた」という実感が強く、就職支援への評価も安定している。
- **美術学科：** ＊ 2024 年：3.41 → 2025 年：3.20（やや低下）
  - 自主学習時間（制作時間）が他学科より突出して長い一方、施設・設備面でのさらなる充実を求める声が散見される。
- **幼児教育学科：** ＊ 2024 年：3.44 → 2025 年：3.58（**上昇**）
  - 実習に関連する教職員の親身な対応が満足度を押し上げている。

---

3. 学習習慣・生活時間の変化

「週あたりの自主学習時間」と「アルバイト時間」の相関について。

- **自主学習：** 2025 年度は、1 日あたり「ほぼしない」「30 分程度」と回答する学生が一部学科で増加しており、学習意欲の二極化が懸念される。
- **アルバイト：** 平日・休日ともに長時間働く学生の割合は昨年同様に高く、特に美術学科・幼教では「睡眠時間の確保」とのトレードオフが課題となっている。

---

4. 自由記述に見られる主な意見（要約）

教職員への評価は総じて高いものの、以下の改善要望が挙げられました。

- **ポジティブ：** 「先生が親身になって進路相談に乗ってくれた」「少人数で話しやすかった」
- **改善要望：** ＊ 学食のメニューや売店の品揃えに関する要望（2 年連続）。
  - 他学科との交流イベントをもっと増やしてほしいという声。
  - （美術）制作スペースの利用可能時間の延長や設備更新。

5. 報告用まとめ・提言

本年度の結果から、教授会へ提案するポイントは以下の 3 点である。

1. **学生支援の継続:** 教職員の親身な対応が満足度の源泉であるため、現行のメンター体制を維持・強化する。
2. **学習時間の確保:** 自主学習時間が減少傾向にある層に対し、初年次からの学習動機付けを再検討する。
3. **施設満足度の向上:** 学生生活の質に直結するアメニティ面（食堂・売店・制作環境）について、可能な範囲での改善を検討する。

＜2024 年度と 2025 年度の比較データによる３学科の詳細な集計表＞

1. ビジネス学科：詳細集計

実務スキルへの意識が高く、安定した評価を維持している。

評価項目（平均スコア*）	2024 年度	2025 年度	増減
総合的な本学の満足度	3.67	3.64	-0.03
専門知識や技術が身についた	3.82	3.73	-0.09
進路について親身な教職員	3.76	3.82	+0.06
PC スキル（Word/Excel 等）の修得	3.65	3.55	-0.10

- **分析:** 就職支援に対する満足度が向上しており、就職支援室と教員の連携が評価されている。一方で、PC スキル等の専門性への実感値がわずかに低下しており、授業内容のブラッシュアップが検討材料となる。

---

2. 美術学科：詳細集計

制作活動への熱意が高い反面、環境への要求が顕著に現れている。

評価項目（平均スコア*）	2024 年度	2025 年度	増減
総合的な本学の満足度	3.41	3.20	-0.21
自主学習時間（3 時間以上/日）	45.4%	38.5%	-6.9%
施設・設備への満足度	3.20	2.85	-0.35
自分の表現を深めていく力	3.85	3.62	-0.23

- **分析:** 満足度の低下は、施設・設備への評価減と連動している。特に制作時間の確保や設備の老朽化に関する自由記述が目立っている。学習時間も減少傾向にあり、制作モチベーションを維持する環境整備が急務と言える。

---

3. 幼児教育学科：詳細集計

全体的に数値が向上しており、教育プログラムが安定している。

評価項目（平均スコア*）	2024 年度	2025 年度	増減
総合的な本学の満足度	3.44	3.58	+0.14
教員としての責務・倫理の理解	3.75	3.88	+0.13
実習・進路への親身な対応	3.62	3.78	+0.16
後輩にぜひ勧めたい（回答率）	32.5%	38.2%	+5.7%

- **分析：** 全学科の中で唯一、満足度が明確に向上しました。実習指導や教職員との距離の近さがポジティブに働いている。「後輩への推奨度」も高く、学科内のコミュニティが良好に機能していることが伺える。

【参考】スコアの算出基準について

- **満足度・あてはまる度:** 「とても（4 点）」「やや（3 点）」「どちらとも（2 点）」「あまり（1 点）」「まったく（0 点）」のように数値化して平均を算出。

※美術学科：満足度低下の分析と改善案

美術学科は、2024 年度から 2025 年度にかけて「総合満足度」および「施設・設備への評価」が全学科で最も大きく低下している。

- **制作環境の重点整備:** * 老朽化した消耗品（画架、作業台等）の計画的な更新。
  - 制作スペースの「利用時間延長」や「清掃管理の徹底」による環境改善。
- **展示機会の拡充による意欲向上:**
  - 学内での小規模な展示機会を増やし、教職員や他学生からのフィードバックを得やすくすることで、制作モチベーションを再点火させる。
- **メンタル・コミュニティ支援:**
  - 制作に行き詰まった学生を早期にフォローできるよう、実技担当教員と事務局の連携を強化し、他学科との緩やかな交流イベントを推奨する。

※総括提言

今回の比較分析から、学生の満足度は**「教職員との距離感」と「専門性を発揮できる環境」**の 2 点に大きく依存していることが分かった。

- **美術学科**に対しては、物理的な**「ハード面（設備）」**のテコ入れ。
- **ビジネス学科**に対しては、ICT スキル等の**「実務面（専門性）」**の再定義。
- **幼児教育学科**に対しては、現行の**「ソフト面（指導体制）」**のベストプラクティスを全学へ共有すること。

以上の施策を並行して進めることで、次年度の全体満足度ボトムアップを図るべきであると結論付ける。

2025 年度 卒業時アンケート（学習成果 自己評価）
2024→2025 差分分析（教授会提出用）

対象：幼児教育学科・美術学科・ビジネス実務学科
指標：学習成果（自己評価：1〜4 点）の平均値。2024 年度は教授会資料（2025/3/21）掲載の平均値、2025 年度は各学科 CSV 集計による。

1. 全体差分（カテゴリ平均）

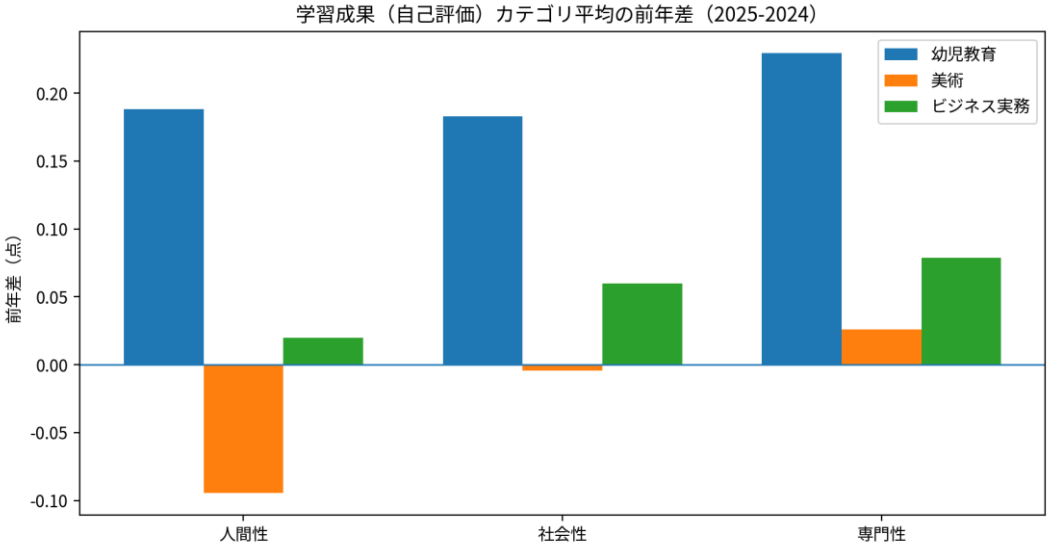


図 1　学習成果（自己評価）カテゴリ平均の前年差（2025-2024）

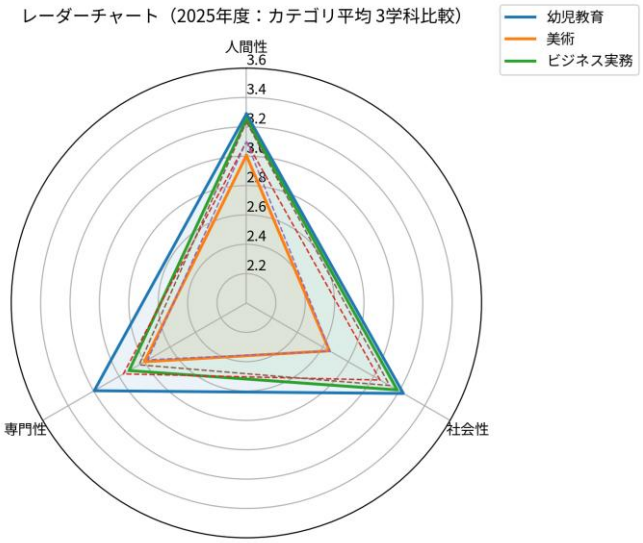


図 2　レーダーチャート（2025 年度：カテゴリ平均 3 学科比較）※破線は 2024 年度

2-1 幼児教育（差分分析）

前年差が大きい項目（上位）

- 専門性 E +0.32
- 人間性 B +0.30
- 専門性 F +0.28

前年差が小さい項目（下位）

- 社会性 A +0.08
- 人間性 A +0.10
- 専門性 B +0.14

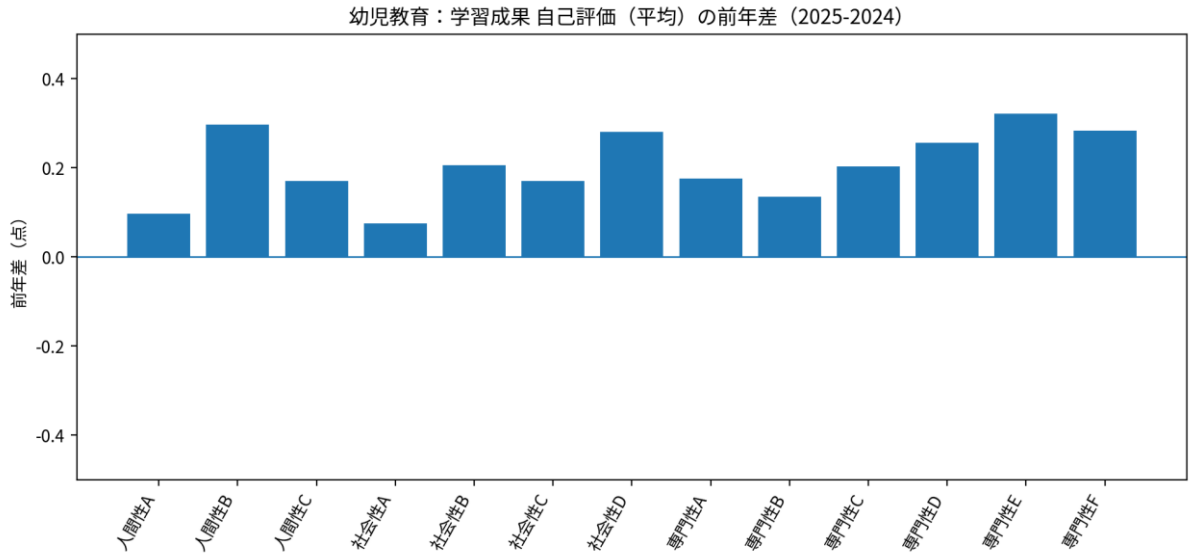


図　幼児教育：項目別前年差（2025-2024）

数値一覧（平均・前年差）

項目コード	2024 平均	2025 平均	前年差
人間性 A	3.20	3.30	+0.10
人間性 B	3.00	3.30	+0.30
人間性 C	3.10	3.27	+0.17
社会性 A	3.10	3.18	+0.08
社会性 B	3.20	3.41	+0.21
社会性 C	3.10	3.27	+0.17
社会性 D	2.80	3.08	+0.28
専門性 A	3.00	3.18	+0.18
専門性 B	3.00	3.14	+0.14
専門性 C	3.00	3.20	+0.20
専門性 D	3.00	3.26	+0.26
専門性 E	2.80	3.12	+0.32
専門性 F	3.00	3.28	+0.28

カテゴリ	2024 平均	2025 平均	前年差
人間性	3.10	3.29	+0.19
社会性	3.05	3.23	+0.18
専門性	2.97	3.20	+0.23

2-2 美術（差分分析）

前年差が大きい項目（上位）

- 社会性 G +0.11
- 専門性 B +0.10
- 専門性 D +0.08

前年差が小さい項目（下位）

- 社会性 C -0.20
- 人間性 B -0.17
- 人間性 D -0.17

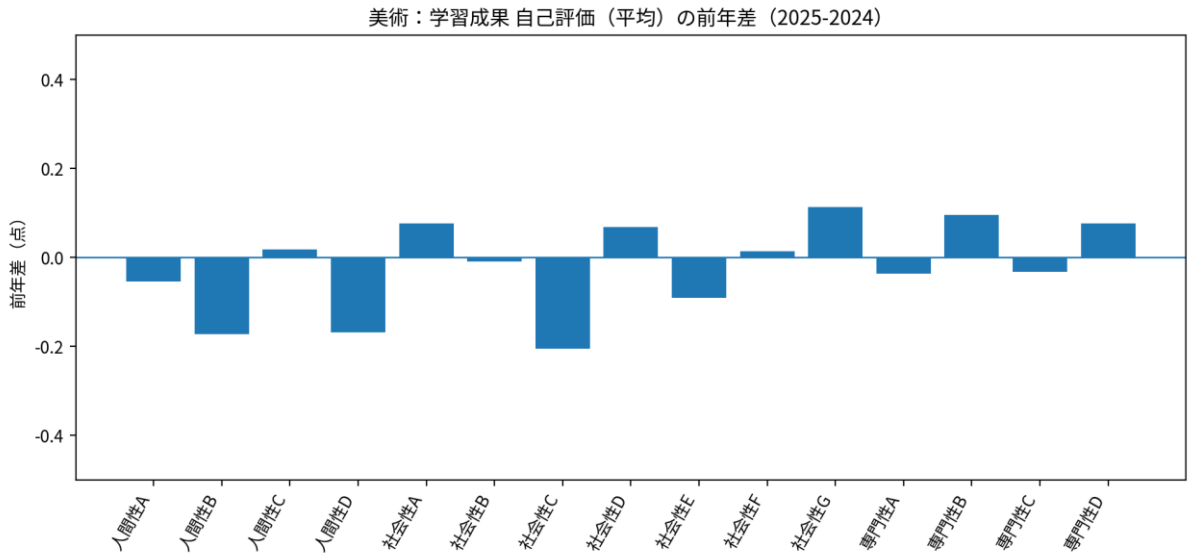


図　美術：項目別前年差（2025-2024）

数値一覧（平均・前年差）

項目コード	2024 平均	2025 平均	前年差
人間性 A	3.10	3.05	-0.05
人間性 B	2.90	2.73	-0.17
人間性 C	3.30	3.32	+0.02
人間性 D	3.10	2.93	-0.17
社会性 A	2.90	2.98	+0.08
社会性 B	2.60	2.59	-0.01
社会性 C	3.00	2.80	-0.20
社会性 D	2.50	2.57	+0.07
社会性 E	2.50	2.41	-0.09
社会性 F	2.60	2.61	+0.01
社会性 G	2.50	2.61	+0.11
専門性 A	2.90	2.86	-0.04
専門性 B	2.70	2.80	+0.10
専門性 C	2.60	2.57	-0.03
専門性 D	2.90	2.98	+0.08

カテゴリ	2024 平均	2025 平均	前年差
人間性	3.10	3.01	-0.09
社会性	2.66	2.65	-0.00
専門性	2.77	2.80	+0.03

2-3 ビジネス実務（差分分析）

前年差が大きい項目（上位）

- 専門性 C +0.23
- 専門性 E +0.17
- 社会性 D +0.15

前年差が小さい項目（下位）

- 専門性 F -0.07
- 専門性 A -0.06
- 人間性 A -0.05

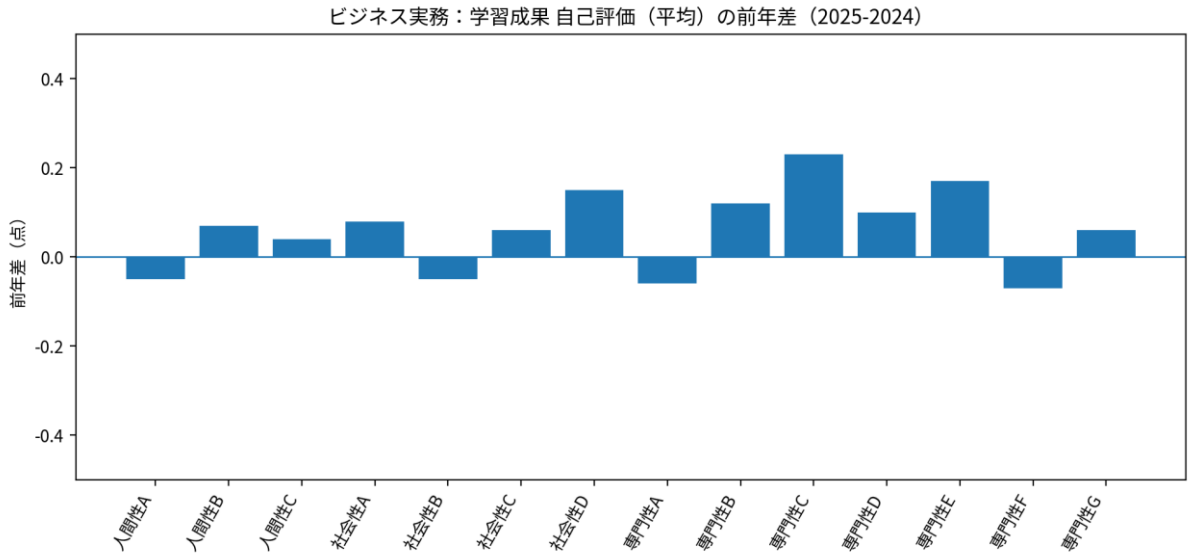


図　ビジネス実務：項目別前年差（2025-2024）

数値一覧（平均・前年差）

項目コード	2024 平均	2025 平均	前年差
人間性 A	3.30	3.25	-0.05
人間性 B	3.10	3.17	+0.07
人間性 C	3.30	3.34	+0.04
社会性 A	3.20	3.28	+0.08
社会性 B	3.30	3.25	-0.05
社会性 C	3.00	3.06	+0.06
社会性 D	3.00	3.15	+0.15
専門性 A	3.20	3.14	-0.06
専門性 B	2.60	2.72	+0.12
専門性 C	2.80	3.03	+0.23
専門性 D	3.00	3.10	+0.10
専門性 E	2.30	2.47	+0.17
専門性 F	3.10	3.03	-0.07
専門性 G	2.90	2.96	+0.06

カテゴリ	2024 平均	2025 平均	前年差
人間性	3.23	3.25	+0.02
社会性	3.12	3.19	+0.06
専門性	2.84	2.92	+0.08